

特別養護老人ホーム第二飯田荘の指定管理について

福祉部長寿支援課

1 現状と課題

(1) 第二飯田荘について

- ・特養第二飯田荘は平成30年4月1日から令和10年3月31日までの10年間を指定管理期間として、飯田市社会福祉協議会に運営を委託している。
- ・指定管理法人の飯田市社協では職員不足が年々顕著になり、定員数の受け入れに必要な職員の確保が困難になっている。
- ・職員不足により配置職員数が減少し、人件費の支出も減少しているが、利用者減による収益減は更に大きく、令和元年度は初めてマイナス収支に転じ、以降マイナス幅が増加傾向である。
- ・令和5年5月に、飯田市社協から「2荘の定員の平準化を図ることにより、現職員体制で施設運営を継続したい。」との申し入れがあり、定員数の変更を行った。
- ・飯田市社協は指定管理期間が終了する令和10年3月31日までの施設経営は困難と判断、令和3年度から飯田市に対し「指定管理期間中の令和6年度末で指定管理を終了したい」との意向を示しており、令和5年8月4日付けで、この旨を記載した会長名の書面が提出された。

●特別養護老人ホーム第二飯田荘の管理運営に関する基本協定書（抜粋）

(協定の解除)

第23条 設置者は、次の各号に掲げる場合は、協定期間中といえども本協定を解除することができる。

(3) 指定管理者が本協定の解除を申し入れ、設置者が適当と認めたとき。

(2) いいだデイサービスセンターについて

- ・コロナ禍の期間を含め収支はプラスであり、利用者確保による収益の維持と、第二飯田荘からの食事提供体制等による経費節減が要因と考える。
- ・飯田市社協は当初、第二飯田荘と併せていいだデイも指定管理を終了したい意向を示していたが、食事提供を飯田荘から行うことで対応できるとし、令和6年度から5年間の指定管理を継続した。

(3) 建物本体について

- ・令和6年度で築31年を迎える当該施設は、老朽化に伴う修繕箇所が多く、修繕費用として過去5年間に1,400万円余支出されている。
- ・当該施設は土砂災害警戒区域（急傾斜地）に隣接しているという防災上の課題を有する。

2 当面の方針（案）

・公募により新たな指定管理法人を定め、令和7年度以降の施設運営を委託する。
・対応日程
5～6月 特養第二飯田荘の利用者及び家族に対する説明
6月議会 経過及び今後の方針（案）の報告
8月 指定管理法人の公募
12月議会 指定管理者の指定に係る議案の上程

3 施設の状況

(1) 指定管理施設の経過

飯田市は平成3年度より、入所及び通所に係る高齢者福祉施設を随時設置、増設し、直営による施設運営とサービス提供を行ってきた。

平成12年に介護保険制度が創設された機会を捉え、既存の高齢者福祉施設を介護保険施設に切り替えるとともに、指定管理制度に基づき民間法人による管理運営に移行し、介護保険制度の普及に寄与してきた。

(2) 施設概要

項目	内容
建築年及び経過	平成5年新築（2階：第二飯田荘、1階：いいだデイサービスセンター） 平成11年増築（玄関脇事務室） 平成13年増築（いいだデイ浴室） 平成30年建築（第二飯田荘倉庫）
構造	鉄筋コンクリート造2階建
総床面積	第二飯田荘：1,936.81㎡（平成11年増築及び平成30年建築部分含む） いいだデイ：571.53㎡（平成13年増築部分含む）
指定管理期間	第二飯田荘：平成30年4月1日～令和10年3月31日（10年） いいだデイ：令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年）
指定管理法人	社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会 第二飯田荘：平成20年4月1日から いいだデイ：平成18年4月1日から

(3) 定員数

●第二飯田荘

区分	～R5.5	R5.6～	増減
長期	50	40	▲10
市枠	20	15	▲5
広域枠	30	25	▲5
短期	10	10	±0

●飯田荘

区分	～R5.5	R5.6～	増減
長期	30	40	+10
市枠	15	20	+5
広域枠	15	20	+5
短期	10	0	▲10

飯田市社会福祉協議会から以下の理由で定員数変更の申し出があり、令和5年5月16日の広域連合会議にて了承を得て、同年6月から変更後の定員数でサービス提供を行っている。

- ・社協全体の人材不足と、介護・看護職員の退職補充ができていない現状に加え、特養勤務の職員1名が療養休暇に入り、施設運営に係る職員体制の確保が深刻な状態となっている。
- ・2荘とも、看護体制や夜間勤務体制、非常勤職員の配置を考慮し、現状において最大限に有効な人員配置をとっているため、施設間の職員異動は困難である。
- ・2荘の定員の平準化を図ることにより、現職員体制で施設運営を継続したい。

(4) 利用率 (％)

施設名		定員	H29	H30	R1	R2	R3	R4	定員	R5
第二飯田荘	長期	50	97.0	97.9	96.8	96.0	92.2	81.4	40	83.9
	短期	10	64.2	39.9	53.5	34.2	16.1	6.9	10	7.4
いいだデイ		25	83.9	84.8	82.8	80.1	78.1	90.5	25	90.2

(5) 当期活動増減差額 (円)

年度	特養第二飯田荘	いいだデイサービスセンター
H29	13,072,992	6,900,227
H30	4,796,383	11,853,430
R1	▲759,112	15,547,051
R2	▲4,354,819	17,561,751
R3	162,151	5,063,921
R4	▲12,230,374	8,357,619
R5	▲19,947,501	13,191,951

(6) 第二飯田荘職員配置 (令和6年4月)

種別	フルタイム	パートタイム	種別	フルタイム	パートタイム
施設長	1	0	介護支援専門員	1	0
介護員	10	14	栄養士	2	0
看護師	2	0	調理員	4	2
生活相談員	1	0	事務	1	0
			合計	22	16

4 介護サービスの関連数値 (参考資料)

(1) 第1号被保険者、要介護認定者等の推計 (第9期介護保険事業計画より抜粋)

- ・令和27年(2045年)まで総人口は20%程度減少するが、介護サービスを必要とする75歳以上人口の減少は2%程度と見込まれている。
- ・要介護・要支援認定数については、令和27年(2045年)まで増加が見込まれている。

●高齢者人口及び被保険者数の予測（各年 10 月 1 日時点）

年度	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 12 (2030)	R 17 (2035)	R 22 (2040)	R 27 (2045)
総人口	94,760	93,909	93,056	89,644	85,490	81,330	77,092
65 歳以上	32,119	32,020	31,931	31,576	31,350	31,768	31,327
75 歳以上							
被保険者数	18,651	18,878	18,987	19,424	19,137	18,666	18,420
割合(%)	58.1	59.0	59.5	61.5	61.0	58.8	58.8
65～74 歳							
被保険者数	13,468	13,142	12,944	12,152	12,213	13,102	12,907
割合(%)	41.9	41.0	40.5	38.5	39.0	41.2	41.2

●要介護認定者数、被保険者数及び出現率の予測（各年 10 月 1 日時点）

区分	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)
要支援 1	473	467	489	521	551	576	573	577	571
要支援 2	586	589	583	616	678	704	696	705	694
要介護 1	1,345	1,355	1,340	1,337	1,332	1,349	1,336	1,386	1,362
要介護 2	1,070	1,088	1,072	1,070	1,065	1,054	1,078	1,089	1,075
要介護 3	861	869	874	871	867	828	853	895	913
要介護 4	831	806	808	806	834	825	849	893	912
要介護 5	724	648	661	659	658	678	705	743	766
合計	5,890	5,822	5,827	5,880	5,985	6,014	6,090	6,288	6,293
被保険者数	32,322	32,156	32,119	32,020	31,931	31,576	31,350	31,768	31,327
出現率*	17.96%	17.85%	17.89%	18.11%	18.50%	18.81%	19.20%	19.60%	19.90%

※一般的に特養入所者は要介護 3～5

※認定者数：第 1 号被保険者と第 2 号被保険者の合計

※出現率：第 1 号被保険者に占める第 1 号被保険者の要支援・要介護認定者の割合

(2) 飯田市の特別養護老人ホームの整備状況

- ・介護保険事業計画に基づき民間の特養が整備され、令和 6 年 5 月に B 圏域（県）に民間の地域密着型特養（長期 29 床）が開設し 13 施設となった。（うち飯田市の指定管理施設は 3 施設）
- ・令和 5 年 12 月末現在の広域枠の特養待機者数は 613 人（飯田市 379 人、下伊那郡 234 人）で、増加傾向を示しており、待機者数に対する供給量は十分でないと認識する。

●生活圏域別の要介護認定者数と特養整備状況（床数はロング）（令和6年5月見込み）

		A圏域	B圏域	C圏域	D圏域	E圏域	F圏域	G圏域	合計
要介護認定者数（R5.9.30）		852	545	734	754	764	697	174	4,520
介護老人福祉施設	施設数	2	1	2	2	1	1	1	10
	床数	80	50	130	124	58	80	50	572
地域密着型 介護老人福祉施設	施設数	0	1	2	0	0	0	0	3
	床数	0	29	49	0	0	0	0	78
合計	施設数	2	2	4	2	1	1	1	13
	床数	80	79	179	124	58	80	50	650

※要介護認定者数は入所施設の利用者及び住所地特例者を含まない。B圏域は新規特養含む。

●特養待機者の推移（いずれも月末）

	H28.12	H29.12	H30.12	R1.12	R2.12	R3.12	R4.12	R5.12
飯田市	329	330	361	348	343	333	339	379
下伊那郡(町村)	172	189	207	186	196	221	236	234
合計	501	519	568	534	539	554	575	613

●第9期計画策定時の整備計画

期間	既存	転床（3か年）			新設（3か年）			廃止	合計
第9期	650	18	0	0	0	0	40	0	708

(3) 通所介護施設の整備状況

- ・55施設のうち飯田市の指定管理施設は12施設である。（一般10、認知2）
- ・介護保険事業計画による定数の制限がないため民間デイが随時新設されており、飯田市全体ではサービス提供体制が充足されていると認識するが、圏域によっては需給バランスの不均衡が生じており、G圏域で1施設（南信濃デイ）を指定管理の更新に際し廃止した。

●生活圏域別の要介護認定者数と通所介護施設の状況（令和6年5月見込み）

		A圏域	B圏域	C圏域	D圏域	E圏域	F圏域	G圏域	合計
要介護認定者数（R5.9.30）		852	545	734	754	764	697	174	4,520
施設数		8	8	13	8	9	6	3	55
定員数		157	171	311	148	179	134	48	1,148

※要介護認定者数には、各圏域に所在する入所施設の入所者及び住所地特例者は含まない

※施設数及び定員数は、通所介護、認知症対応型通所介護、地域密着型通所介護の合計

●日常生活圏域

圏域	地区	圏域	地区
A	橋北、橋南、羽場、丸山、東野	E	千代、龍江、竜丘、川路、三穂
B	鼎	F	座光寺、上郷
C	山本、伊賀良	G	上村、南信濃
D	松尾、下久堅、上久堅		